

アナログ HD 8 チャンネル マルチビューワ

AMV-800

本取扱説明書では、アナログ HD 8 チャンネル マルチビューワ AMV-800 の専用ソフトの使い方について説明いたします。

専用ソフト編 目次

専用ソフトの準備	2	4.タイトルの設定	8
■ダウンロード	2	5.自動切換えの設定	9
■インストール方法	2	6.ビデオの調整設定	10
■起動画面	2	7.表示チャンネルの設定	11
■ファイル	2	8.ビデオフォーマットの設定	12
■インターフェイス	3	9.オート・ゲイン・コントロール	12
専用ソフトの操作方法	4	10.その他の設定	13
■設定	4	11.全項目の設定	15
1.アラームの設定	5	12.機器のスレーブ アドレス	15
2.ビデオ ロスの設定	6	13.メンテナンス(設定項目の読み込み)	15
3.日付・時刻の設定	7	必要なシステム構成	15

前面部ボタンおよびメニューには無い設定項目

以下の項目は専用ソフトのみ可能な設定および操作です。

- タイトルの設定(ひらがな,漢字,記号等の入力).....8 ページ 4.タイトルの設定 参照
 ○設定のファイル保存.....2 ページ ■ファイル 参照

専用ソフトの準備

■ダウンロード

アルテックス WEB サイトより、AMV-800 専用ソフトの ZIP ファイルをダウンロードして保存します。
ZIP ファイルの中の“AMV800.exe” および取扱説明書(本書)を解凍します。

※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。

■インストール方法

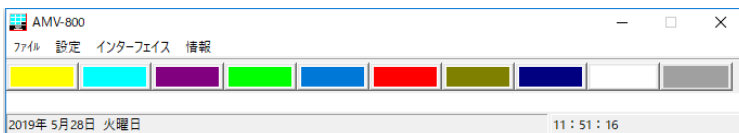
“AMV800.exe” をパソコンのローカル ディスク内に保存します。
デスクトップにショートカット アイコンを作成しておくくと便利です。



AMV800.exe

■起動画面

“AMV800.exe”
を起動させると、
右図の基本ウィンドウ
が表示されます。



■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

●上書き保存

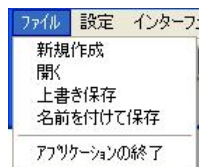
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。
拡張子は“dat”です。

●アプリケーションの終了

専用ソフト(アプリケーション)を終了します。

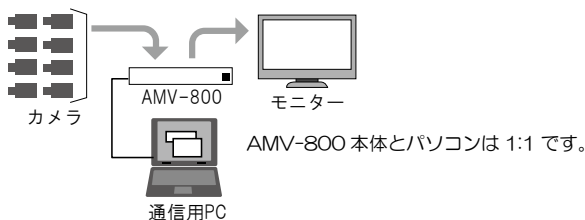


専用ソフトの準備

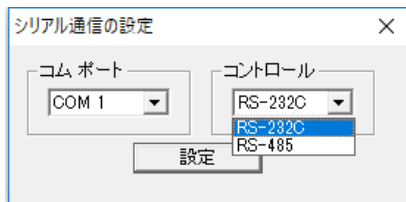
■インターフェイス

専用ソフトのパソコンと AMV-800 本体は RS-232C または RS-485 で送受信します。

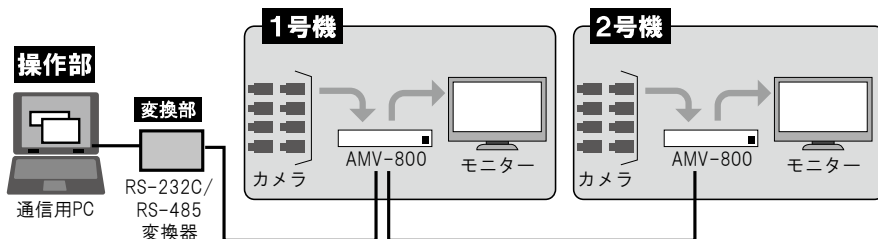
◎RS-232C 経由で送受信する場合



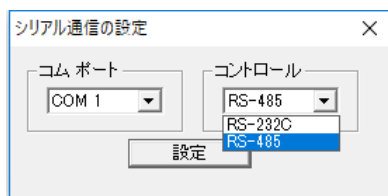
“インターフェイス” の“コントロール” で RS-232C を選択します。
設定の各シートの“スレーブアドレス”は無効になります。



◎RS-485 経由で送受信する場合



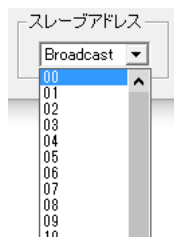
AMV-800 複数台を号機で判別して制御します。
号機(スレーブアドレス 00~31)はあらかじめ AMV-800 本体のメニューで割り当てます。
“インターフェイス” の“コントロール” で RS-485 を選択します。



設定の各シートの“スレーブアドレス”のリストで号機(00~31)を選択してから設定してください。

“Broadcast” を選択して設定すると各号機への一斉送信となります。

- 注意**
- カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信はできません。
 - 一斉送信時は“Success” “Error” 等のアンサーバックはありません。

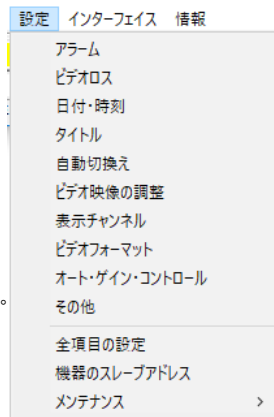


専用ソフトの操作方法

■設定

メニュー バー“設定”のプルダウン リストから設定したい項目をクリックするとシートが表示されます。

起動画面の 10 個のボタンは、プルダウン リストと同じ機能の設定項目です。



●送信

各シートで値を変更したら AMV-800 本体に送信すると設定が反映されます。

各シートには次のボタンが表示されていますので用途により使い分けてください。

設定 Don't 項目の値を送信する。本体に保存はしない。

全設定 Don't シート全項目の値を送信する。本体に保存はしない。

設定 項目の値を送信する。本体に保存する。

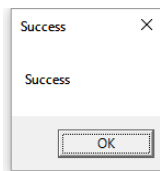
全設定 シート全項目の値を送信する。本体に保存する。

※本体に保存する…設定が本体に記憶され、電源を切っても保存されます。

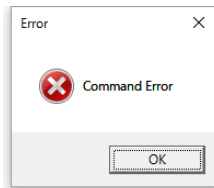
注意 ● ボタンをクリックせずに **Close** **X** などではシートを閉じた場合は送信されません。

●アンサーバック

本体が正常に受信するとメッセージ“Success”等が表示されます。かならず“OK”をクリックしてください。



正常に受信されないときはエラーメッセージが表示されます。かならず“OK”をクリックしてください。



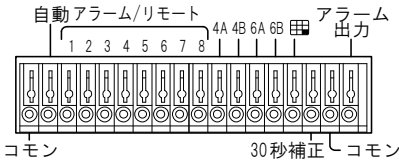
エラーは次の原因が考えられますので確認してください。

- ケーブルが正常に結線されていない
- AMV-800 本体の電源が立ち上がっていない
- メニュー表示中である(メニューを終了してください)
- 設定範囲外の値が入力されている(各シートの説明で設定範囲を確認してください)

注意 ● RS-485 経由で一斉送信(Broadcast)したときは、アンサーバックはありません。

専用ソフトの操作方法

1.アラームの設定



背面のアラーム/リモート信号入出力端子をアラームとして使用するときの動作を設定します。

※この設定はリモートに設定されているときは選択不可となります。

(13 ページ ●コネクター入力 参照)

アラームの設定

モード

Internal

設定

保持時間

010

設定

入力極性

Make

設定

表示

ON

設定

リターン

ON

設定

スリーブアドレス

Close

●モード

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
Internal	“保持時間”で設定した時間、アラーム動作を保持する
External	センサー等が入力されている間、アラーム動作を保持する

●保持時間

アラーム動作の保持時間を 003～999(秒)の間で設定します。

※002(秒)以下の設定はできません。

※“モード”が“Internal”のとき有効です。

●入力極性

アラーム入力信号の検出点を設定します。

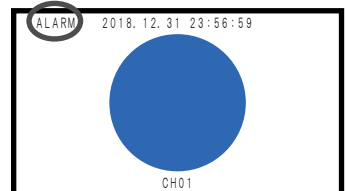
値	動作
Make	ノーマル オープン センサー等が閉じたとき検出
Break	ノーマル クローズ センサー等が開いたとき検出

※“モード”が“Internal”のとき有効です。

●表示

アラーム動作中、“ALARM”の表示を設定します。

値	表示
ON	画面左上部に“ALARM”が表示する
OFF	画面左上部に“ALARM”を表示しない アラーム信号入力があったチャンネルの単画面に 切換のみ



●リターン

アラーム動作解除後のタイトル表示を設定します。

値	表示
ON	アラーム動作前の状態に戻る
OFF	アラーム動作中のチャンネルを単画面のまま表示する

専用ソフトの操作方法

2.ビデオロスの設定

映像信号入力なくなる
ビデオ ロス状態の設定
です。

ch.01

ON

設定

ch.02

ON

設定

ch.03

ON

設定

ch.04

ON

設定

ch.05

ON

設定

ch.06

ON

設定

ch.07

ON

設定

ch.08

ON

設定

Display

ON

設定

Signal Output

OFF

設定

背景色

黒

設定

スリープアドレス

Close

●ch.01～ch.08

映像の無入力の検出/非検出をチャンネルごとに設定します。

値	動作
ON	検出する
OFF	検出しない

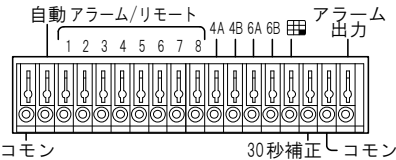
●背景色

映像の無入力チャンネルの背景色を黒/青から設定します。

●Signal Output

ビデオ ロス動作中にアラーム/リモート信号入出端子の
“アラーム出力” からの信号出力を設定します。

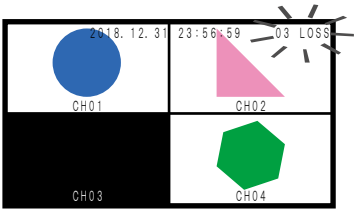
値	動作
ON	ビデオ ロス検出中に信号出力する
OFF	ビデオ ロス検出中に信号出力しない



●Display

ビデオ ロスの“LOSS” の表示を設定します。

値	動作
ON	ビデオ ロスを検出したとき画面右上に “** LOSS” を点滅表示する (**は一番若いチャンネル)
OFF	ビデオ ロスを検出しても “** LOSS” を表示しない



3.日付・時刻の設定

日付・時刻の調整と画面表示を設定します。
日付・時刻表示は 1 行表示のときのみで、タイトルバーの反対側に固定表示されます。

●年,月,日,時,分,秒

現在の日付,時刻の設定をおこないます。
年,月,日,時,分,秒を入力してそれぞれの
 をクリックしてください。

をクリックすると年,月,日,時,分,秒の値を一括で本体に送信・設定します。

●表示範囲

日付・時刻の表示形式を設定します。

表示範囲	表示例
年月日時分秒	2019. 12. 31 23:59:59
年月日時分	2019. 12. 31 23:59
年月日	2019. 12. 31
月日時分秒	12. 31 23:59:59
月日時分	12. 31 23:59
月日	12. 31
時分秒	23:59:59
時分	23:59

●表示

日付・時刻を表示/非表示します。

値	表示
ON	表示する
OFF	表示しない

●30 秒補正

時計の 30 秒補正をおこないます。

クリック時、画面に表示されている秒の値	調整される時間
00～29(秒)	現在の分の 00(秒)
30～59(秒)	1 分進んで 00(秒)

4. タイトルの設定

各チャンネルのタイトルを設定します。

●タイトル入力

タイトルを入力してプリセットします。

“チャンネル”に ch.01～ch.08 を選択してから、“タイトル”に文字を書き込みます。

それぞれ全角 10 文字まで書き込むことができます。

JIS 第一、第二水準＋拡張文字の 7,324 文字を使用できます。(JIS X0208-1990)

- 注意**
- 半角英数および半角カタカナは使用できません。
 - スペースも全角を使用してください。

設定 Don't “チャンネル”に選択されているチャンネルのみタイトルを送信する。本体に保存はしない。

全設定 Don't 全チャンネルのタイトルを送信する。本体に保存はしない。

設定 “チャンネル”に選択されているチャンネルのみタイトルを送信する。本体に保存する。

全設定 全チャンネルのタイトルを送信する。本体に保存する。

●単画面表示

単画面にタイトルを表示/非表示します。

値	表 示
ON	表示する
OFF	表示しない

●分割画面表示

分割画面にタイトルを表示/非表示します。

値	表 示
ON	表示する
OFF	表示しない

5.自動切換えの設定

自動切換え表示(オートシーケンス)の設定をします。

●表示時間

各画面の表示時間を00～99(秒)に設定します。
00(秒)のときは、そのタイトルはスキップします。

“チャンネル”で画面を選択してから、“時間(秒)”で値を選択します。

“同時間(秒)”は全画面の値を一括で設定します。

●モード

表示画面パターンを設定します。

値	表 示
単画面	単画面だけの自動切換え
分割画面	分割画面だけの自動切換え
ミックス	単画面,分割画面の自動切換え

自動切換えの設定

ch.01 = 03 秒

ch.02 = 03 秒

ch.03 = 03 秒

ch.04 = 03 秒

ch.05 = 03 秒

ch.06 = 03 秒

ch.07 = 03 秒

ch.08 = 03 秒

4分割I A = 03 秒

4分割I B = 03 秒

6分割I A = 03 秒

6分割I B = 99 秒

9分割I = 99 秒

チャンネル

6分割B

時間(秒)

99

同時間(秒)

3

スレーブアドレス

設定

モード

分割画面

設定

Close

9

6.ビデオの調整設定

映像レベルをチャンネルごとに調整します。

“チャンネル”を選択してから、各項目の値を選択してそれぞれの **設定** をクリックしてください。

全設定 をクリックすると全チャンネルおよび全項目の値を一括で本体に送信・保存します。

ビデオの調整設定

	ch.01	ch.02	ch.03	ch.04	ch.05	ch.06	ch.07	ch.08
Brightness	00	00	00	00	00	00	00	00
Contrast	064	064	064	064	064	064	064	064
Hue	000	000	000	000	000	000	000	000
Sharpness	00	00	00	00	00	00	00	00
Saturation	080	080	080	080	080	080	080	080

Brightness
00
設定

Contrast
064
設定

Hue
000
設定

Sharpness
00
設定

Saturation
080
設定

チャンネル
ch.05

スレーブアドレス

全設定

Close

●Brightness

映像の明るさを調整します。
(-64～63)

●Hue

映像の色調を調整します。
(000～255)

●Saturation

映像のクロマ色相を調整します。
(000～127)

●Contrast

映像のコントラストを調整します。
(000～127)

●Sharpness

映像のシャープネスを調整します。
(00～31)

7.表示チャンネルの設定

表示画面の選択と、分割画面のチャンネル配置を設定します。

表示チャンネルの設定

4分割A ch配置

画面1
ch.01

画面2
ch.02

画面3
ch.03

画面4
ch.04

設定

設定Don't

4分割B ch配置

画面1
ch.05

画面2
ch.06

画面3
ch.07

画面4
ch.08

設定

設定Don't

6分割A ch配置

画面1
ch.01

画面2
ch.02

画面3
ch.03

画面4
ch.04

画面5
ch.05

画面6
ch.06

設定

設定Don't

6分割B ch配置

画面1
ch.01

画面2
ch.02

画面3
ch.03

画面4
ch.04

画面5
ch.07

画面6
ch.08

設定

設定Don't

9分割 ch配置

画面1
ch.01

画面2
ch.02

画面3
ch.03

画面4
ch.04

画面5
ch.05

画面6
ch.06

画面7
ch.07

画面8
ch.08

設定

設定Don't

画面

自動

設定

スレープアドレス

Close

●画面

映像出力画面を設定します。AMV-800 本体のフロントボタンを使用した動作と同じです。



値	表 示	値	表 示
自動	自動切換え	4 分割 A,4 分割 B	4 分割 A,4 分割 B
ch.01～ch.08	単画面 1～8	6 分割 A,6 分割 B	6 分割 A,6 分割 B
		9 分割	9 分割

●各分割 ch 配置

各分割画面の各位置に配置するチャンネル(ch.01～ch.08)を設定します。

注意 ●ひとつの画面に 2 つ以上の同じチャンネルを選択することはできません。

設定 Don't チャンネル配置の設定を送信する。本体に保存はしない。

設定 チャンネル配置の設定を送信する。本体に保存する。

専用ソフトの操作方法

8.ビデオフォーマットの設定

※カメラを変更したときは、かならず設定してください。

各チャンネルの入力映像フォーマットを設定します。

ビデオフォーマットの設定

ch.01: AHD 1920 [設定]

ch.02: AHD 1920 [設定]

ch.03: AHD 1920 [設定]

ch.04: AHD 1920 [設定]

ch.05: AHD 1920 [設定]

ch.06: AHD 1920 [設定]

ch.07: AHD 1920 [設定]

ch.08: AHD 1920 [設定]

同設定: AHD 1920 (開いたメニュー: AHD 1920, AHD 720, TVI 1920, TVI 720, CVI 1920, CVI 720, NTSC) [Close]

●ch.01～ch.08

入力映像フォーマットをチャンネルごとに設定します。

●同設定

チャンネル 1～8 が同じフォーマットのときは、一括で設定します。

注意 ● “720p AHD” 設定時は、映像信号によっては映像内の斜めエッジ部などにクロスカラーのような細かいギザギザ線が出る場合があります。

9.オート・ゲイン・コントロール

ゲインの自動補正機能をチャンネルごとに設定します。

この設定を有効にすると、入力映像レベルを検出して出力映像レベルが一定に保たれるように補正します。

値	機能
ON	有効
OFF	無効

オート・ゲイン・コントロール

ch.01: ON (開いたメニュー: ON, OFF) [設定]

ch.02: ON [設定]

ch.03: ON [設定]

ch.04: ON [設定]

ch.05: ON [設定]

ch.06: ON [設定]

ch.07: ON [設定]

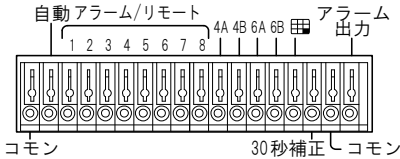
ch.08: ON [設定]

スレープアドレス: [] [Close]

10.その他の設定

●コネクター入力

背面のアラーム/リモート信号入力端子の用途を設定します。



値	用途
ALARM	アラームとして使用
REMOTE	リモートとして使用

●電源投入時画面

電源を入れたときに表示させる画面を設定します。

値	表示
ch.01～ch.08	単画面 1～8
4 分割 A,4 分割 B	4 分割 A,4 分割 B
6 分割 A,6 分割 B	6 分割 A,6 分割 B
9 分割	9 分割
自動	自動切換え

●ボーダーライン

分割画面時のボーダーライン(境界線)を黒色/灰色/白色/OFF から設定します。

●OSD Offset 水平/垂直

日時表示,タイトル,メニュー等の挿入文字の表示位置をそれぞれ設定します。

値	表示
水平	左 ← → 右
垂直	上 ← → 下

その他の設定

コネクター入力

ALARM

設定

電源投入時画面

自動

設定

ボーダーライン

黒色

設定

スレーブアドレス

OSD Offset水平

08

設定

OSD Size単画面

LARGE

設定

ボタンロック

OFF

設定

OSD Offset垂直

08

設定

OSD Size分割画面

SMALL

設定

NTSCアスペクト比

4:3

設定

Close

専用ソフトの操作方法

●OSD Size 単画面/分割画面

日時表示、タイトル、メッセージ等の挿入文字のフォントサイズをそれぞれ設定します。

値	サイズ
LARGE	46×46
SMALL	30×30

※メニューのフォントサイズはLARGEで固定です。

その他の設定

×

コネクター入力

ALARM

設定

OSD Offset水平

08

設定

OSD Offset垂直

08

設定

電源投入時画面

自動

設定

OSD Size単画面

LARGE

設定

OSD Size分割画面

SMALL

設定

ボーダーライン

黒色

設定

ボタンロック

OFF

設定

NTSCアスペクト比

4:3

設定

スレーブアドレス

Close

●ボタンロック

AMV-800 機器本体の前面部ボタンで画面切換えができないようにします。

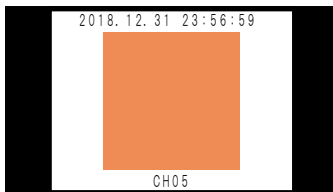
値	表 示
ON	前面部ボタンをロックする
OFF	ロックを解除する

注意 ●アラーム信号入力があった場合は、ロック中でも画面表示が切り替わりアラーム動作をします。
ただしロック中のため、前面部ボタンで即座にアラーム動作を解除することはできません。

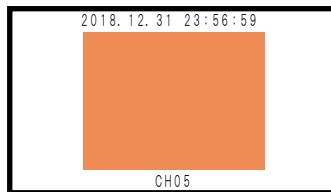
●NTSC アスペクト比

入力映像方式がNTSCの場合、表示の比率を選択します。

値	表 示
4:3	4:3 表示する 映像の左右は黒表示
FULL	表示枠いっぱいに表示する 映像を引き伸ばす



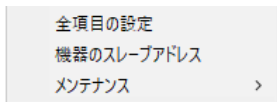
単画面 NTSC 4:3



単画面 NTSC FULL

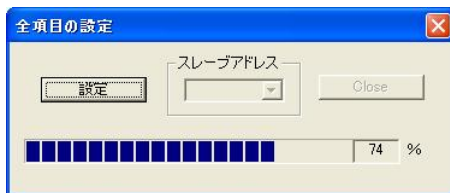
専用ソフトの操作方法

11.全項目の設定



各シートで設定した内容を一括で本体に送信します。

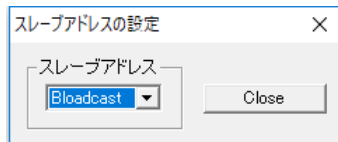
設定 をクリックすると本体に送信して設定します。
送信には時間がかかります。



12.機器のスレーブ アドレス

インターフェイスで RS-485 の使用を設定したときだけ有効です。
(3 ページ ■インターフェイス 参照)

通信したい AMV-800 の号機(00~31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00~31,Broadcast)が入力された状態になります。



注意 ●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。

13.メンテナンス（設定項目の読み込み）

本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。

読み込み をクリックすると本体から専用ソフトに読み込みます。読み込みには時間がかかります。



必要なシステム構成

AMV-800 専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows 7 日本語版, Windows 8.1 日本語版, Windows 10 日本語版
- 400KB 以上の空き容量のあるハードディスク
- RS-232C ポート(シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム